

<登下校中に大きな地震が起きた場合の対応について>

○地震の揺れを感じたら

① 周囲の状況を十分に確認して、

「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」

屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。

から離れてしゃがむ。

② バッグなどで**頭を守る。**

・崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意が必要で、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。

・**自転車に乗っていたらすぐに降りる。**

・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早く渡りきる。

・バス・電車に乗っている時は、棚から荷物が落ちてこないか確認する。

座っている時は、手すりや座席にしっかりつかまる。

立っている時は、手すりなどにつかまるか、つかまれない時はしゃがむ。

※ **大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要です。最寄りの安全な場**

所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。

「遠くの自宅より近くで待機」です。

○地震の揺れがおさまったら

・崖や山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れる。高台に避難する。近くにいる大人に聞く。

・徒歩や自転車を使用している場合は、最寄りの避難場所に行く。

避難所(避難場所＝紫塚小学校)

・避難後、登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは、状況を判断して安全な行動を選ぶ。